

I 調査結果の概要

1 青果物の卸売動向

平成15年(1~12月)の全国の青果物卸売市場における取扱いの状況は以下のとおりとなった。(表1)

(1) 野菜

野菜の卸売数量は、土物類、根菜類等が減少したため、1,244万tで前年に比べ2%減少した。

卸売価格は、土物類、根菜類等が上昇したため、1kg当たり平均で前年に比べ4%上昇し、188円となった。

卸売価額は、2兆3,345億円で前年に比べ2%増加した。

(2) 果実

果実の卸売数量は、輸入果実が増加したものの、国産果実が減少したため、522万tで前年に比べ7%減少した。

卸売価格は、輸入果実が低下したものの、国産果実が上昇したため、1kg当たり平均で前年に比べ2%上昇し、244円となった。

卸売価額は、1兆2,733億円で前年に比べ5%減少した。

表 1 青果物卸売数量・価額・価格

単位 { 数量：万t
価額：億円
価格：1kg当たり円

区 分	実 数			対 前 年 比 (%)			
	平.13	14	15	平.13	14	15	
計	卸売数量	1 863	1 826	1 767	98	98	97
	卸売価額	37 494	36 194	36 078	99	97	100
	卸売価格	201	198	204	101	99	103
野 菜	卸売数量	1 284	1 266	1 244	98	99	98
	卸売価額	23 301	22 780	23 345	100	98	102
	卸売価格	181	180	188	102	99	104
果 実	卸売数量	578	560	522	98	97	93
	卸売価額	14 193	13 414	12 733	97	95	95
	卸売価格	245	240	244	99	98	102

図1 野菜の卸売数量と卸売価額の推移

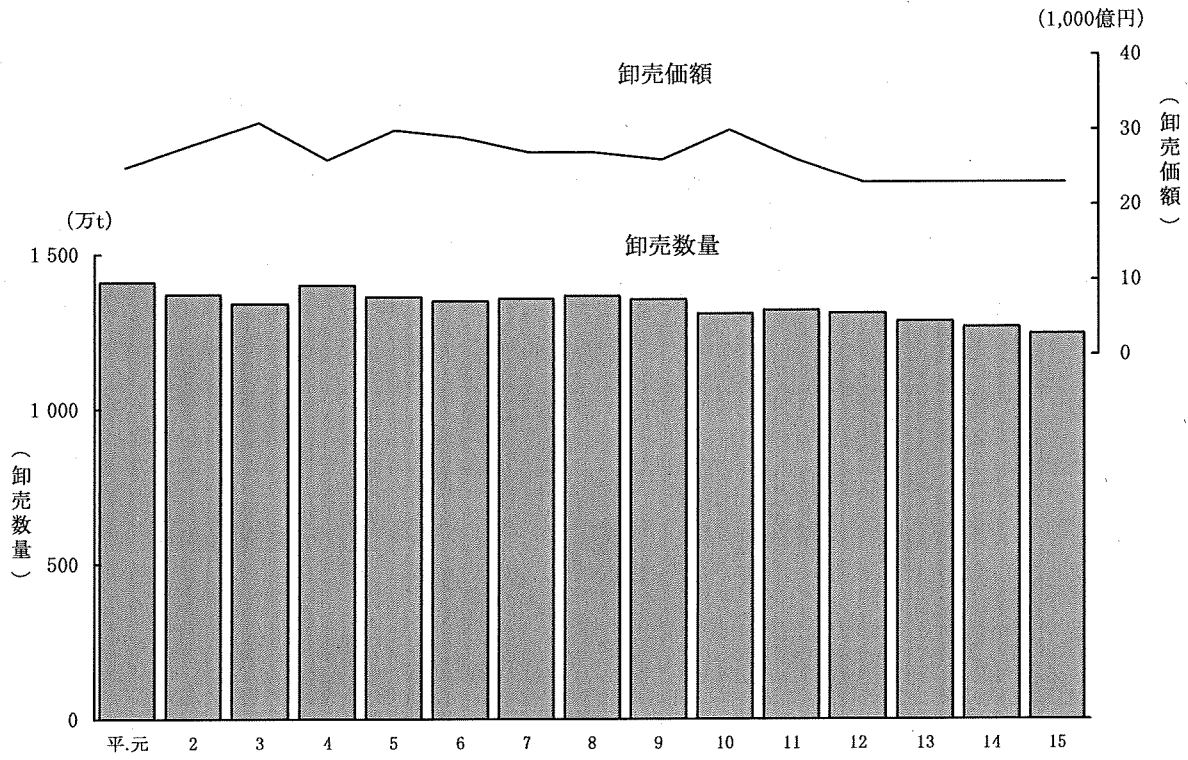
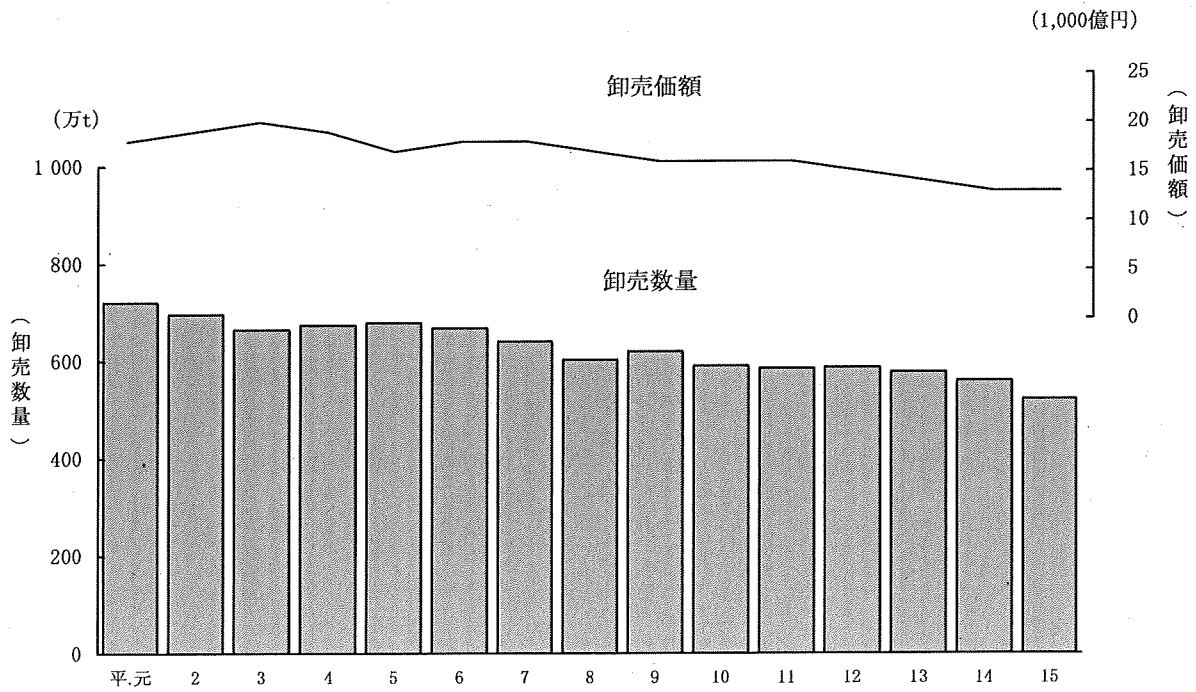


図2 果実の卸売数量と卸売価額の推移



(3) 1・2類都市の卸売市場における輸入野菜の動向 (表2、3)

ア 平成15年の1・2類都市の市場における輸入野菜の卸売数量は、38万7千tで前年に比べ10%増加した。

これは、ブロッコリーが前年に比べ21%減少したものの、かぼちゃがニュージーランドからの入荷量の増加により前年に比べ8%増加したこと、たまねぎが前年の卸売価格の低下により国産品の作付面積が減少したこと等から、前年に比べ97%増加したためである。

イ 1・2類都市の市場における輸入割合(卸売数量の総量に占める輸入の割合。以下同じ。)の高い品目は、にんにく(62%)、さやえんどう(57%)、かぼちゃ(48%)、しょうが(41%)、ブロッコリー(32%)等となっている。

表2 主な輸入野菜の卸売数量と輸入割合

品 目	卸売数量						輸入割合								
	平. 13		14		15		平. 13		14		15				
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差				
輸 入 野 菜 計	444	99	351	79	387	110	5	0	4	△	1	4	0		
うち、															
にんじん	9	83	6	74	13	202	2	0	1	△	1	2	1		
ごぼう	22	97	22	97	17	79	17	0	17	0		14	△	3	
たけのこ	3	91	3	111	3	95	13	△	1	15	2	15	0		
ねぎ	16	77	19	114	22	116	6	△	1	7	1	8	1		
アスパラガス	12	85	9	78	9	91	40	△	7	32	△	8	30	△	2
ブロッコリー	51	105	45	87	35	79	50	3	42	△	8	32	△	10	
かぼちゃ	120	102	108	90	116	108	50	3	49	△	1	48	△	1	
ピーマン	10	131	11	112	11	97	7	2	8	1		8	0		
さやえんどう	19	109	12	63	12	96	67	8	57	△	10	57	0		
さといも	5	108	5	97	5	103	6	0	6	0		6	0		
たまねぎ	69	90	31	45	62	197	7	△	1	3	△	4	6	3	
にんにく	19	102	16	82	17	104	63	1	55	△	8	62	7		
しょうが	17	122	17	100	18	107	34	6	35	1		41	6		
生しいたけ	26	91	19	72	18	95	39	△	1	32	△	7	31	△	1

ウ 国産品と輸入品の卸売価格を比較してみると、にんにく、さやえんどう及び生しいたけでは、国産品との価格差が大きく、それぞれ国産品の15%、28%及び30%という価格水準になっている。

表3 輸入割合の高い野菜の国産品と輸入品の卸売価格

単位：1kg当たり円

品目	平. 13			14			15		
	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比
	国産品	輸入品		国産品	輸入品		国産品	輸入品	
			%			%			%
にんじん	105	94	90	107	78	73	117	90	77
ごぼう	185	112	61	107	78	73	247	141	57
たけのこ	325	285	88	275	313	114	358	291	81
ねぎ	321	173	54	317	142	45	323	143	44
アスパラガス	939	639	68	951	693	73	949	644	68
ブロッコリー	298	241	81	309	264	85	264	247	94
かぼちゃ	143	128	90	171	143	84	139	100	72
ピーマン	321	528	164	321	540	168	336	572	170
さやえんどう	818	243	30	895	256	29	957	272	28
さといも	202	119	59	214	117	55	194	113	58
たまねぎ	80	67	84	63	60	95	95	76	80
にんにく	559	135	24	497	135	27	885	132	15
しょうが	409	194	47	419	178	42	555	180	32
しいたけ	936	345	37	1 015	338	33	1 014	301	30

参考表 主な野菜の輸入国と輸入数量割合

上段：輸入国名
下段：割合 (%)

品目	1位	2位	3位	4位	5位
にんじん・かぶ	中国 76.5	ニュージーランド 10.4	オーストラリア 8.3	台湾 4.1	アメリカ 0.6
ごぼう	中国 90.5	台湾 9.3	オーストラリア 0.2	タイ 0.0	
たけのこ	中国 96.0	台湾 4.0			
リーキ・ねぎ属	中国 99.0	オーストラリア 0.6	ベルギー 0.3	タイ 0.1	韓国 0.0
アスパラガス	オーストラリア 21.6	フィリピン 20.4	メキシコ 19.2	タイ 16.0	アメリカ 14.9
ブロッコリー	アメリカ 88.7	中国 9.6	オーストラリア 1.6	メキシコ 0.1	ベトナム 0.0
かぼちゃ	ニュージーランド 62.6	メキシコ 15.3	トンガ 15.1	ロシア 2.8	ニューカレドニア 1.9
ピーマン	韓国 65.8	オランダ 22.2	ニュージーランド 11.8	北朝鮮 0.2	オマーン 0.0
えんどう	中国 99.8	タイ 0.2			
さといも	中国 100.0	オーストラリア 0.0			
たまねぎ	中国 49.6	アメリカ 26.8	ニュージーランド 17.5	チリ 2.8	オーストラリア 1.0
にんにく	中国 99.8	アメリカ 0.2	韓国 0.0	イタリア 0.0	
しょうが	中国 97.0	タイ 2.6	インドネシア 0.4	ミャンマー 0.0	
しいたけ	中国 100.0	韓国 0.0			

資料：財務省『貿易統計』

2 主要品目の動向

(1) 野菜

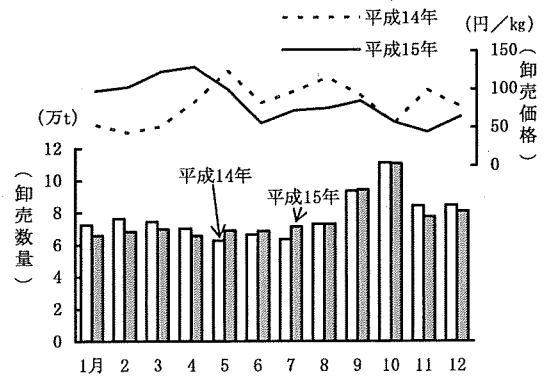
ア だいこん

平成15年の全国の青果物卸売市場における（以下同じ。）卸売数量は、123万tで前年に比べ1%減少した。

これは、生育期の低温による根部の肥大抑制等により、1～4月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、1～4月の入荷量が少なく前年に比べ高かったことから、3%上昇し80円となった。（表4・6、図3）

図3 だいこんの月別卸売数量と卸売価格の推移（1・2類都市計、以下同じ）



（青果物卸売市場調査「青果物流通統計月報」より、以下同じ。）

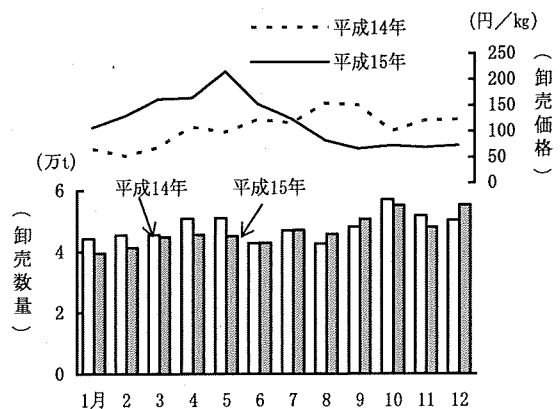
イ にんじん

卸売数量は、76万tで前年に比べ2%減少した。

これは、北海道産が生育順調で8・9月の入荷量が増加したものの、千葉県産、徳島県産等が生育期の天候不順による肥大抑制により、1～5月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、年前半の入荷量が少なく前年に比べ高かったことから、8%上昇し114円となった。（表4・6、図4）

図4 にんじんの月別卸売数量と卸売価格の推移



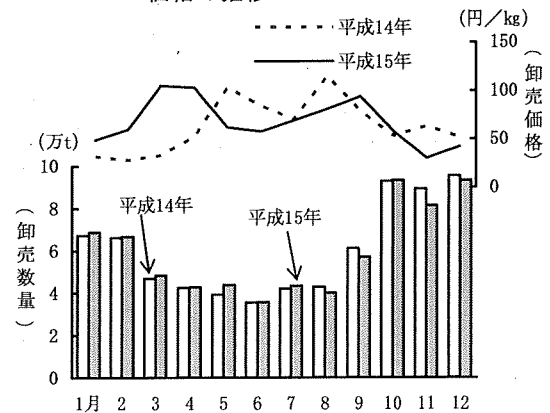
ウ はくさい

卸売数量は、102万tで前年に比べ1%減少した。

これは、長野県産が生育期の降雨と日照不足による病害の発生により、8・9月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、1～4月が前年の需要低迷による価格安から回復したことにより前年に比べ高かったことから、5%上昇し60円となった。（表4・6、図5）

図5 はくさいの月別卸売数量と卸売価格の推移



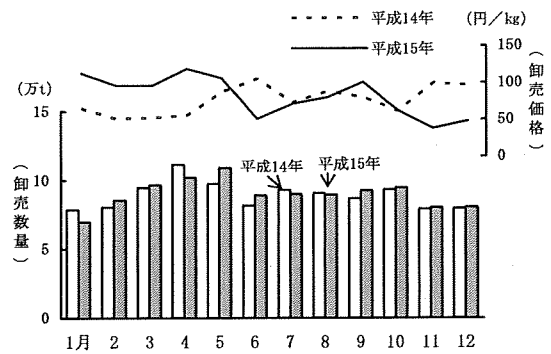
エ キャベツ

卸売数量は、148万 t で前年に比べ1%増加した。

これは、愛知県産等が生育期の低温による肥大抑制により1月の入荷量が減少したものの、9月以降はおおむね生育が順調で入荷量が増加したためである。

卸売価格は、1～5月が価格安であった前年に比べ高かったことから、9%上昇し81円となった。(表4・6、図6)

図6 キャベツの月別卸売数量と卸売価格の推移

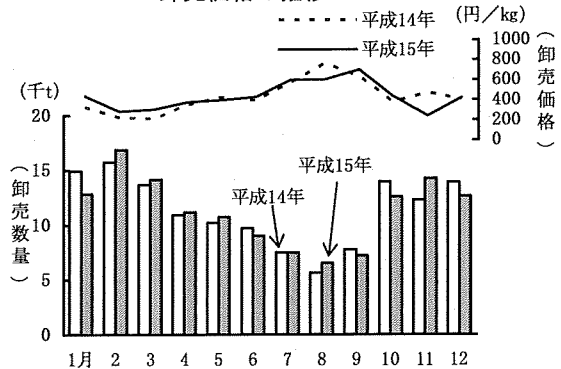


オ ほうれんそう

卸売数量は、21万 t で前年並みとなった。

卸売価格は、8・11月が前年を大幅に下回ったものの、その他の月で前年を上回って推移したため、3%上昇し380円となった。(表4・6、図7)

図7 ほうれんそうの月別卸売数量と卸売価格の推移



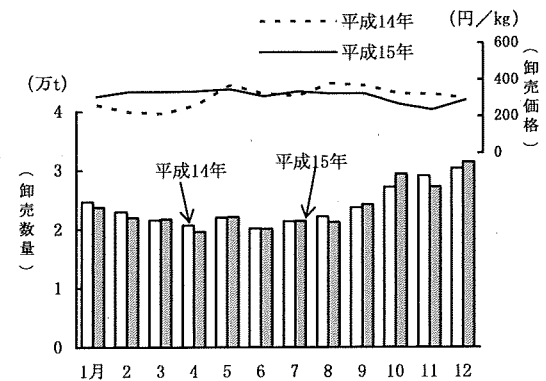
カ ねぎ

卸売数量は、40万 t で前年並みとなった。

卸売価格は、8月以降が前年に比べ安かったものの、1～4月が前年を上回って推移したため、1%上昇し296円となった。

(表4・6、図8)

図8 ねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移

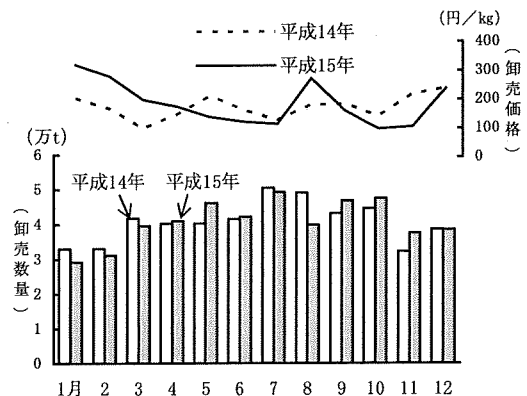


キ レタス

卸売数量は、月により入荷量の増減はあるものの65万 t で前年並みとなった。

卸売価格は、前年末からの低温の影響により入荷量が減少した1～3月、夏期の天候不順による生育の遅れにより入荷量が減少した8月が前年に比べ高かったことから、4%上昇し174円となった。(表4・6、図9)

図9 レタスの月別卸売数量と卸売価格の推移



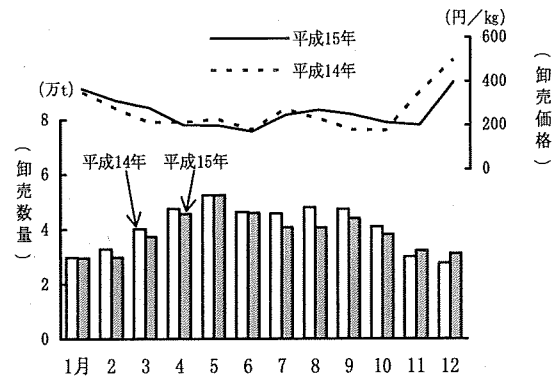
ク きゅうり

卸売数量は、64万 t で前年に比べ4%減少した。

これは、夏期の低温・日照不足の影響により着果数が少なく肥大が抑制され7～10月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、入荷量が減少した8～10月の価格が前年に比べ高かったことから、1%上昇し244円となった。(表4・6、図10)

図10 きゅうりの月別卸売数量と卸売価格の推移



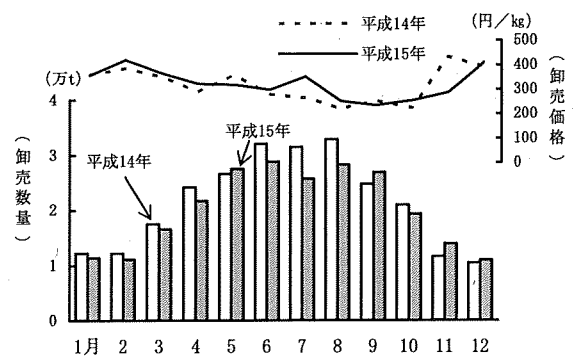
ケ なす

卸売数量は、35万 t で前年に比べ5%減少した。

これは、夏期の低温・日照不足の影響により着果数が少なく肥大が抑制され6～8月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、入荷量が減少した6～8月を中心に前年を上回ったことから、4%上昇し295円となった。(表4・6、図11)

図11 なすの月別卸売数量と卸売価格の推移



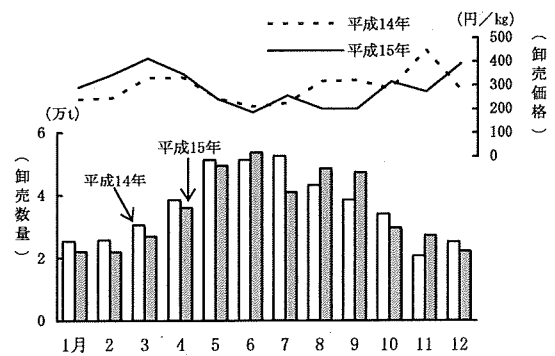
コ トマト

卸売数量は、66万 t で前年に比べ1%減少した。

これは、年前半が前年末からの低温の影響により肥大が抑制され入荷量が減少したためである。

卸売価格は、8・9月が夏期の天候不順による生育の遅れ等により入荷量が増加し前年に比べ安かったことから、4%低下し289円となった。(表4・6、図12)

図12 トマトの月別卸売数量と卸売価格の推移



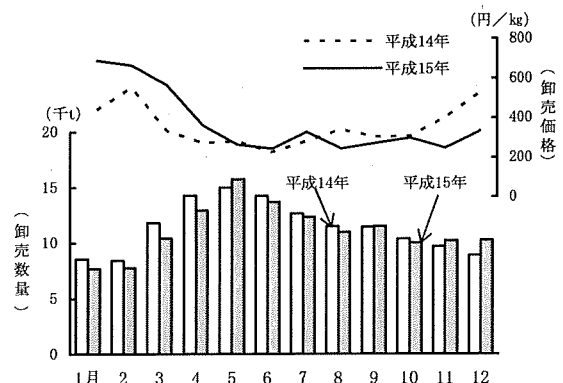
サ ピーマン

卸売数量は、17万 t で前年に比べ2%減少した。

これは、前年末からの低温等の影響により宮崎県産の作柄が悪く1～4月の入荷量が減少したためである。

卸売価格は、入荷量の減少により1～4月が前年に比べ高かったことから、5%上昇し349円となった。(表4・6、図13)

図13 ピーマンの月別卸売数量と卸売価格の推移



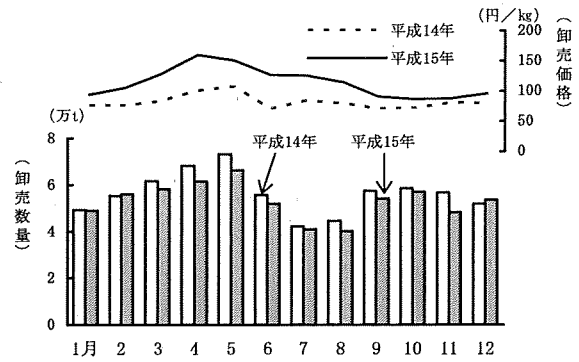
シ ばれいしょ

卸売数量は、80万 t で前年に比べ5%減少した。

これは、主産地の北海道等で前年価格の低下による他作物への転換等により作付面積が減少したためである。

卸売価格は、入荷量の減少や前年価格が安かったことから、40%上昇し116円となった。(表4・6、図14)

図14 ばれいしょの月別卸売数量の推移と卸売価格



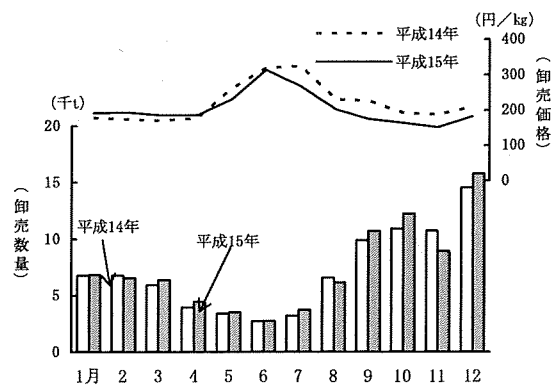
ス さといも

卸売数量は、13万 t で前年に比べ4%増加した。

これは、埼玉県産等が生育順調で9・10月の入荷量が増加したためである。

卸売価格は、入荷量が増加したことから、9%低下し180円となった。(表4・6、図15)

図15 さといもの月別卸売数量の推移と卸売価格



セ たまねぎ

卸売数量は、124万 t で前年に比べ6%減少した。

これは、主産地の北海道等で前年価格の低下による他作物への転換等により作付面積が減少したためである。

卸売価格は、入荷量の減少や前年価格が安かったことから、51%上昇し95円となった。(表4・6、図16)

図16 たまねぎの月別卸売数量の推移と卸売価格

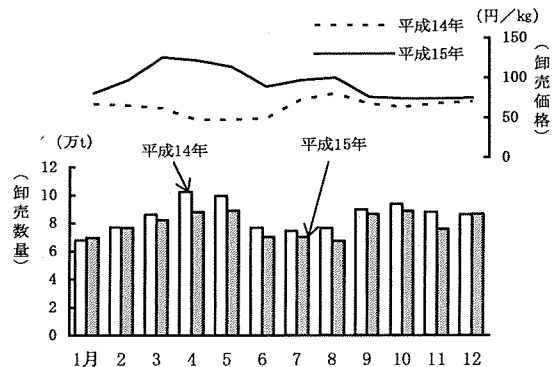


表 4 主要野菜の卸売数量

単位 { 数量：万 t
比率：%

区 分	卸 売 数 量			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
野 菜 計	1 284	1 266	1 244	98	99	98
うち、						
だ い こ ん	127	125	123	100	98	99
に ん じ ん	78	78	76	99	99	98
は く さ い	105	103	102	96	98	99
キ ャ ベ ツ	148	146	148	98	99	101
ほ う れ ん そ	21	21	21	99	98	100
ね ぎ	41	40	40	97	99	100
レ タ	64	64	65	100	101	100
き ゅ う	69	67	64	98	97	96
な す	39	37	35	92	97	95
ト マ ト	69	67	66	97	97	99
ピ マ	18	18	17	96	98	98
ば れ い し	85	85	80	98	100	95
さ と い も	13	12	13	100	97	104
た ま ね ぎ	127	132	124	98	104	94

表 5 主要野菜の卸売価額

単位 { 価額：億円
比率：%

区 分	卸 売 価 額			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
野 菜 計	23 301	22 780	23 345	100	98	102
うち、						
だ い こ ん	1 022	974	986	103	95	101
に ん じ ん	812	821	867	94	101	106
は く さ い	704	582	612	123	83	105
キ ャ ベ ツ	1 188	1 078	1 201	113	91	111
ほ う れ ん そ	851	777	800	103	91	103
ね ぎ	1 216	1 178	1 191	113	97	101
レ タ	1 147	1 078	1 120	96	94	104
き ゅ う	1 581	1 614	1 557	90	102	96
な す	1 026	1 055	1 044	96	103	99
ト マ ト	1 988	2 034	1 921	100	102	94
ピ マ	603	591	608	108	98	103
ば れ い し	896	707	929	86	79	131
さ と い も	235	242	228	97	103	94
た ま ね ぎ	1 020	837	1 180	110	82	141

表 6 主要野菜の卸売価格

単位 { 価格：1 kg当たり円
比率：%

区 分	卸 売 価 格			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
野 菜 計	181	180	188	102	99	104
うち、						
だ い こ ん	80	78	80	103	98	103
に ん じ ん	104	106	114	95	102	108
は く さ い	67	57	60	126	85	105
キ ャ ベ ツ	81	74	81	116	91	109
ほ う れ ん そ	396	368	380	104	93	103
ね ぎ	298	292	296	116	98	101
レ タ	180	167	174	95	93	104
き ゅ う	230	242	244	92	105	101
な す	266	283	295	104	106	104
ト マ ト	287	301	289	103	105	96
ピ マ	331	333	349	112	101	105
ば れ い し	106	83	116	88	78	140
さ と い も	187	198	180	97	106	91
た ま ね ぎ	80	63	95	113	79	151

(2) 果実

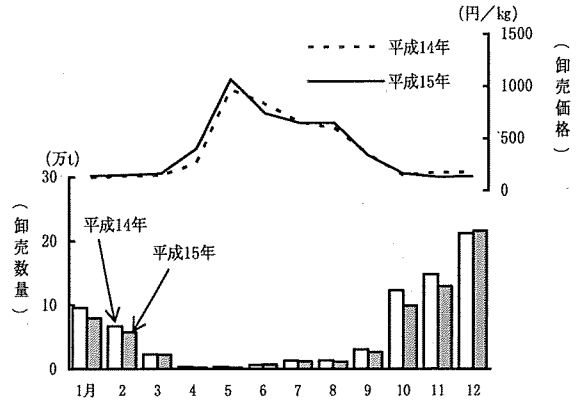
ア みかん

卸売数量は、98万 tで前年に比べ9%減少した。

これは、14年産が裏年で1・2月の入荷量が減少し、また、15年産が表年であるものの需給調整対策の推進や日焼け果、風傷果の発生等により、9月以降も入荷量が減少したためである。

卸売価格は、風傷果の発生や糖度の低下など品質が悪かったことから、6%低下し167円となった。(表7・9、図17)

図17 みかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



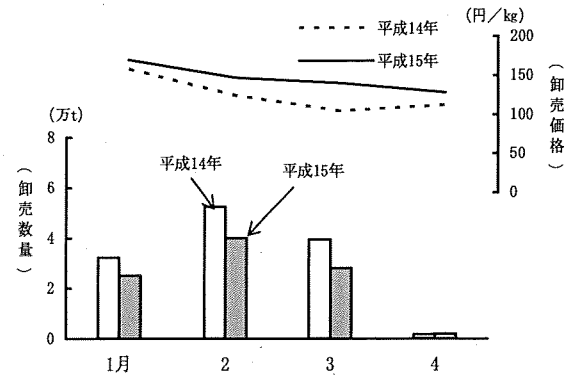
イ いよかん

卸売数量は、14万 tで前年に比べ24%減少した。

これは、主産地の愛媛県産が結果数が少なく、加えて夏期の高温・少雨により肥大が抑制されたためである。

卸売価格は、入荷量が減少したことから、18%上昇し142円となった。(表7・9、図18)

図18 いよかんの月別卸売数量と卸売価格の推移



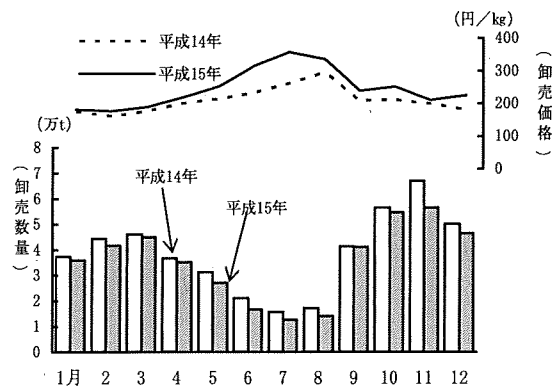
ウ りんご

卸売数量は、71万 tで前年に比べ8%減少した。

これは、主産地の青森県産等が夏期の低温・日照不足による肥大抑制や台風による落果等から8月以降入荷量が減少したためである。

卸売価格は、入荷量が減少したことから、14%上昇し207円となった。(表7・9、図19)

図19 りんごの月別卸売数量と卸売価格の推移



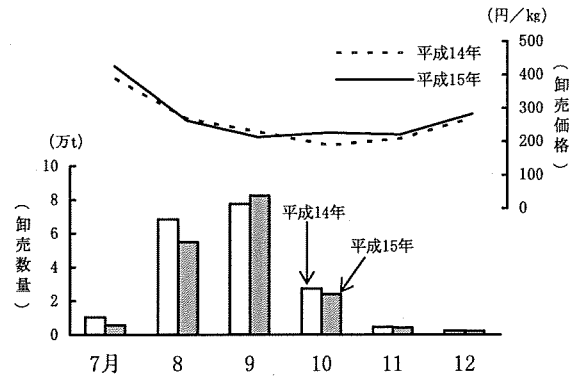
エ 日本なし

卸売数量は、24万 t で前年に比べ8%減少した。

これは、夏期の低温・日照不足によりみつ症等の発生や肥大が抑制されたためである。

卸売価格は、天候不順による品質低下や肥大抑制により2%低下し235円となった。(表7・9、図20)

図20 日本なしの月別卸売数量と卸売価格の推移



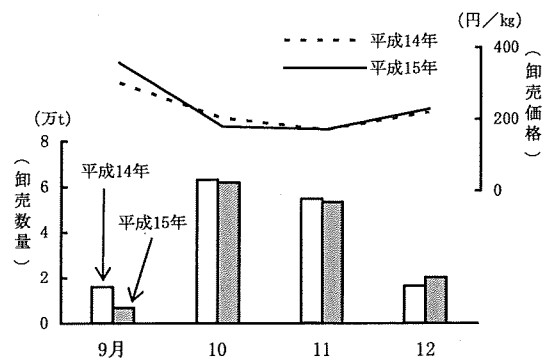
オ かき

卸売数量は、20万 t で前年に比べ5%減少した。

これは、天候不順により肥大が抑制されたためである。

卸売価格は、前年価格が高かったことから、5%低下し188円となった。(表7・9、図21)

図21 かきの月別卸売数量と卸売価格の推移



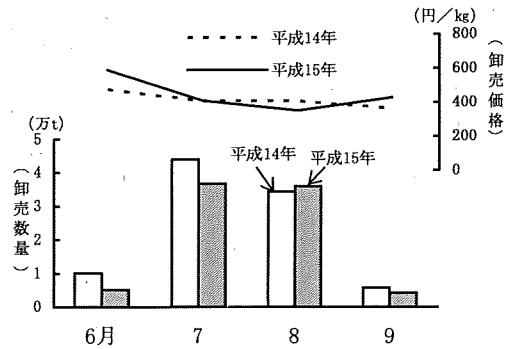
カ もも

卸売数量は、11万 t で前年に比べ12%減少した。

これは、夏期の低温・日照不足により主産地の山梨県産、福島県産等で結果数が少なかったためである。

卸売価格は、天候不順による品質低下や肥大抑制により、3%低下し385円となった。(表7・9、図22)

図22 ももの月別卸売数量と卸売価格の推移



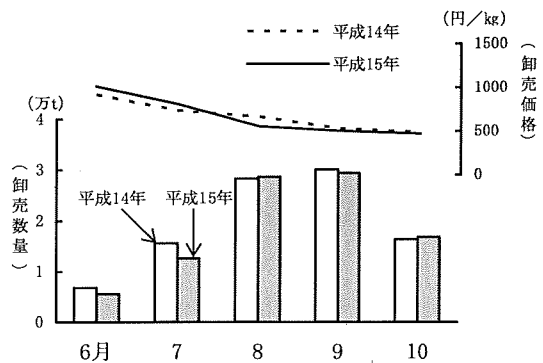
キ ぶどう

卸売数量は、14万 t で前年に比べ4%減少した。

これは、夏期の低温・日照不足及び降雨の影響により着房数の減少や裂果等が発生したためである。

卸売価格は、夏期の天候不順による生育の遅れから8月に入荷産地が重なり入荷量が増加したことから、6%低下し569円となった。(表7・9、図23)

図23 ぶどうの月別卸売数量と卸売価格の推移



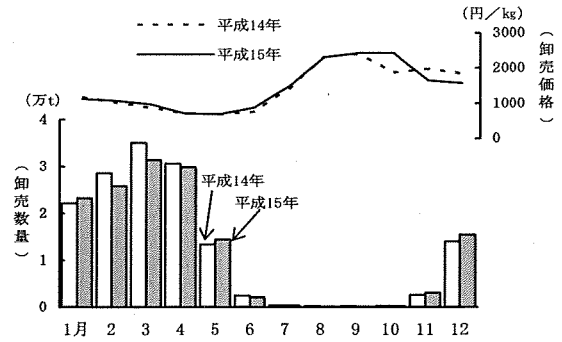
ク いちご

卸売数量は、19万 t で前年に比べ2%減少した。

これは、栃木県産で生育期の低温により着果数が少なかったためである。

卸売価格は、入荷量が減少したことから、1%上昇し998円となった。(表7・9、図24)

図24 いちごの月別卸売数量と卸売価格の推移



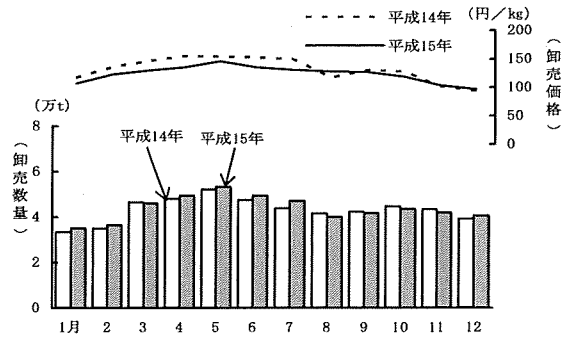
ケ バナナ

卸売数量は、73万 t で前年に比べ2%増加した。

これは、主産地のフィリピン産が前年に比べ生育が順調で輸入量が増加したためである。

卸売価格は、入荷量の増加や前年価格が高かったことから、7%低下し127円となった。(表7・9、図25)

図25 バナナの月別卸売数量と卸売価格の推移



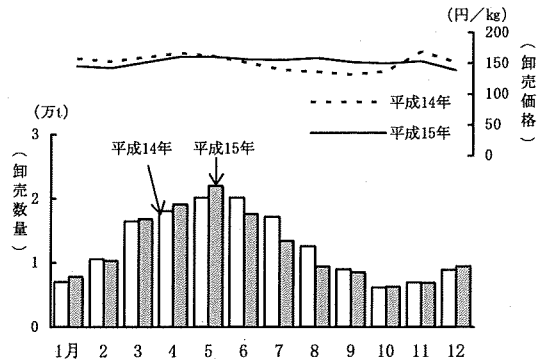
コ グレープフルーツ

卸売数量は、19万 t で前年に比べ3%減少した。

これは、フロリダ産の輸入量が減少したためである。

卸売価格は、入荷量が減少したことから、1%上昇し158円となった。(表7・9、図26)

図26 グレープフルーツの月別卸売数量と卸売価格の推移



サ オレンジ

卸売数量は、10万 t で前年に比べ17%増加した。

これは、天候不順の影響により輸入量が減少した前年産に比べ、主産地のカリフォルニア産等の輸入量が増加したためである。

卸売価格は、入荷量が増加したことから12%低下し165円となった。(表7・9、図27)

図27 オレンジの月別卸売数量と卸売価格の推移

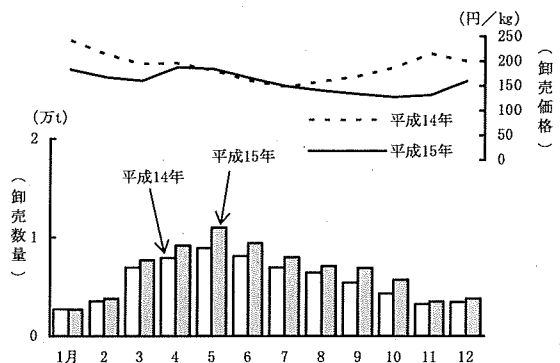


表 7 主要果実の卸売数量

単位 { 数量：万 t
比率：%

区 分	卸 売 数 量			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
果 実 計	578	560	522	98	97	93
うち、						
み かん	115	108	98	103	94	91
いよかん	20	19	14	107	94	76
りんご	67	77	71	98	114	92
日本なし	29	26	24	93	92	92
かき	23	21	20	101	92	95
もも	13	13	11	102	96	88
ぶどう	14	15	14	95	105	96
いちご	20	20	19	100	97	98
バナナ	78	72	73	91	91	102
グレープフルーツ	21	19	19	99	95	97
オレンジ	12	9	10	94	74	117

表 8 主要果実の卸売価額

単位 { 価額：億円
比率：%

区 分	卸 売 価 額			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
果 実 計	14 193	13 414	12 733	97	95	95
うち、						
みかん	2 027	1 915	1 642	93	95	86
いよかん	313	223	200	152	71	90
りんご	1 661	1 396	1 473	101	84	106
日本なし	676	636	571	84	94	90
かき	430	416	376	105	97	90
もも	546	507	431	101	93	85
ぶどう	871	893	812	92	103	91
いちご	2 066	1 939	1 918	94	94	99
バナナ	810	973	930	92	120	96
グレープフルーツ	325	303	299	110	93	99
オレンジ	213	161	165	113	76	103

表 9 主要果実の卸売価格

単位 { 価格：1 kg当たり円
比率：%

区 分	卸 売 価 格			対 前 年 比		
	平.13	14	15	平.13	14	15
果 実 計	245	240	244	99	98	102
うち、						
みかん	176	177	167	90	101	94
いよかん	159	120	142	141	75	118
りんご	246	182	207	103	74	114
日本なし	235	240	235	91	102	98
かき	189	198	188	104	105	95
もも	410	397	385	99	97	97
ぶどう	614	603	569	97	98	94
いちご	1 020	987	998	94	97	101
バナナ	103	136	127	101	132	93
グレープフルーツ	158	156	158	110	99	101
オレンジ	183	188	165	120	103	88